



一乗小だより

深く考える子
進んで取り組む子
思いやりのある子

福井市一乗小学校 第97号
令和8年2月10日発行
TEL 43-2024 FAX 43-2025
E-mail : itijo-e@fukui-city.ed.jp

ふるさとの学びフェア ふるさと一乗を発信!



2月7日、福井県立大学永平寺キャンパスにおいて、「ふるさとの学びフェア」が開催され、一乗小児童が「ふるさと学び奨励賞」を受賞するとともに、これまでの取組について発表してきました。

福井県では、学校教育において「ふるさと教育」の推進を掲げています。ふるさと学習では、「自他を認める心」を土台として、まずはクラスや学校の良さを見つける取組へとつなげ、さらに地域の魅力や先人の生き方へと学びの範囲を広げていくことを目的としています。また、郷土への理解を深め、愛着をもち、その継承と発展に関わろうとする心を育むため、先人の歩み、地域の歴史や自然、伝統・文化、

暮らし、産業などについて「学び、まとめ、発信する」ことが具体的な取組として示されています。

これらの視点は、一乗小学校の特色ある取組である「一乗子ども観光大使」の活動の意義と、まさに重なっています。子どもたちは、すばらしい一乗の自然や環境、そして温かい地域の方々に囲まれ、ここでしかできない学びを意欲的に進めています。その成果を「ふるさとの学びフェア」で堂々と発表し、ふるさと一乗の魅力を見事に発信することができました。今後もこの活動を継続し、毎年工夫を重ねながら、子どもたちが楽しみながら主体的に取り組めるようにしていきたいと考えています。

保護者の皆様には、休日にもかかわらず会場に足を運んでいただき、子どもたちの活動に対して温かいご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



オープニング



戦国絵巻の演奏でスタート!



3・4年生の発表



森の学習の成果を発信



1・2年生の発表



5・6年生の発表



朝倉ガイドを実演中 😊



発表の様子はこちらから

デジタル利用について考える

先月の学校だより「子どもへの声かけの工夫」の話の中で、スティーブ・ジョブズに学ぶデジタル時代の子育てについて少し紹介しました。ここでは、その話から子どもたちの成長にとって大切なデジタル利用について考えます。これまで、子どもたちのスマホ利用については講演会を設けたり、関連機関の調査結果からお知らせしたりしてきましたが、全世界で利用されているスマホの開発者がどのように子どもに向き合っていたかを知り、その根拠を考え、子どもたちのデジタル利用について考える機会となればと思います。

「スティーブ・ジョブズに学ぶデジタル時代の子育てについて」

《親子で語り合う時間がとても大切》

Appleの創業者であるスティーブ・ジョブズは、自分の子どもたちにiPadやiPhoneを使わせなかったことで有名です。彼の知人が「子どもたちはiPadを使っているのか？」と尋ねたところ、「使っていません。私たちは子どもたちのテクノロジー使用を制限しています」彼の家庭では、夕食時にスマホ等は一切使わず、家族で本や歴史、哲学などについて語り合う時間を大切にしていたそうです。

伝記「スティーブ・ジョブズ」を書いたウォルター・アイザックソンによると、「スティーブ・ジョブズは毎晩、台所のテーブルで食事をしながら、必ず本や昔のこと、いろんなことについて子どもたちと話し合うようにしていた」そうです。また、「子どもたちはiPadやパソコンを持ち出すことはなかった」と言っていたそうです。

《スティーブ・ジョブズの端末に関する考え方》

- ◆ 小さな子どもは、2Dの画面を3Dの世界として理解する能力が未発達であり、機器の使用により認知スキルの発達が妨げられる。
- ◆ 機器からの音声よりも、親が目を見て話しかける方が言語習得に効果的である。
- ◆ もし機器を使うなら、大人と一緒にやりとりしながら使う。

日常生活におけるデジタル利用について(提案)

① 「時間」よりも、まず「ルール」を共有する

「宿題が終わってから」「夕食前だけ」「1日〇分で、タイマーを使う」など、家族で共通のルールを決めると効果的です。

② 「やめやすい工夫」をつくっておく

「アプリやゲームを区切りの良い場面で終わる習慣をつける」「終了時間の5分前に声かけする」「タイマーを子ども自身にセットさせる」など、子どもが自分で気持ちを切り替えられるようにサポートします。

③ iPad等の代わりに「楽しい選択肢」を用意する

外遊び、ボードゲーム、折り紙や工作、親子での読書等、「やることがないからゲーム」を避ける環境づくりが効果的です。

④ 親自身の“見本”が一番効く

大人がずっとスマホを見ていると、子どもにも強い影響があります。食事中はスマホを置く、家族の時間は画面を見ないなど、親の姿が子どもの習慣につながります。

⑤ 「完全に禁止」より“上手に使う”を目指す

端末機器は悪いものではありません。知識を広げたり、学びの道具になったり、使い方次第で大きな力になります。大人が関わりながら、上手に活用していくことが大切です。

◆まとめ

スティーブ・ジョブズは、子どもの健やかな成長のためにテクノロジーを“慎重に”使わせていました。「短時間・一緒に・会話を大切に」の3点を意識すると、家庭での時間が豊かなものになります。

《全校お楽しみ会まであと1週間》

2月も半ばにさしかかり、現在、子どもたちが一生懸命に準備している「全校お楽しみ会」が来週行われます。みんなが笑顔☺で過ごせる会になるように工夫しています。保護者の皆様、そして、ご家族の皆様、子どもたちの笑顔を見に来ていただきたいと思います。

とき 2月20日(金)9:25~10:30(予定) **ところ** 体育館



昨年全校お楽しみ会の様子

..... 切り取り

学校へのご意見や感想をお知らせください。

こちらからも可 →→→

年 名前

(無記名でも構いません)

